



廃棄物のゼロエミッション活動の展開

循環型社会の形成に向け、廃棄物の適正な管理・処理を行うとともに、2001年から3R(リデュース、リユース、リサイクル)を推進する廃棄物ゼロエミッション活動に取り組んでいます。

産業廃棄物

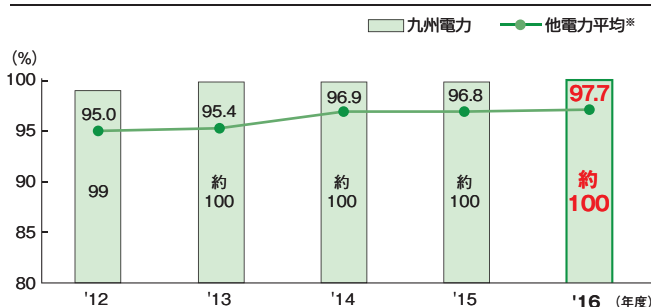
当社が排出する産業廃棄物には、火力発電所の運転に伴う副産物(石炭灰、石こう)や工事に伴う撤去資材などがあります。これらの産業廃棄物については、適切な管理・処理を行うとともに、発生量の抑制(Reduce:リデュース)、再使用(Reuse:リユース)、再生利用(Recycle:リサイクル)の3Rを実践しています。

■ 産業廃棄物の発生状況とリサイクル率(2017年度)

	発生量 (トン)	リサイクル量 (トン)	リサイクル率 (%)	主なリサイクル 用途	
石炭灰	726,672	726,672	100	セメント原料 コンクリート混和材	
その他 産業 廃棄物	重原油灰	219	219	100	バナジウム回収
	石こう	108,220	108,220	100	セメント原料
	汚泥	4,097	1,790	44	セメント原料
	廃油	1,818	1,806	99	燃料油に再生
	廃プラ	299	275	92	助燃材
	金属くず	18,013	17,893	99	金属材料
	廃コンクリート柱	11,845	11,845	100	路盤材、建設骨材
	ガラス・陶磁器くず	114	82	72	ガラス製品材料
	特別管理 産業廃棄物*	492	414	84	セメント原料
	その他	140	140	100	助燃材
小計	145,257	142,684	98.2		
産業廃棄物総合	871,928	869,293	約100		

※:「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)」において、人の健康または生活環境に係る被害を生ずる恐れがある性状を有するため特別管理産業廃棄物として規定されている汚泥、廃石綿等、廃油、廃アルカリ及び廃酸
(注) 四捨五入のため合計値が一致しないことがある

■ 廃棄物リサイクル率の他社比較



※:当社を除く、旧一般電気事業者(9社)の廃棄物リサイクル率の平均
(注) グループ会社の実績は環境データ集(P74参照)に記載

【発生量の抑制(リデュース)への取組み】……………

発電所では、発電設備の保全リスク管理を徹底しており、これに基づく適切な工事計画の策定・実施により、廃棄物の発生量抑制に取り組んでいます。

【再使用(リユース)への取組み】……………

配電工事等で撤去した電力用資機材については、再使用に必要な性能・品質を有しているかなどを適正に判断し、再使用しています。

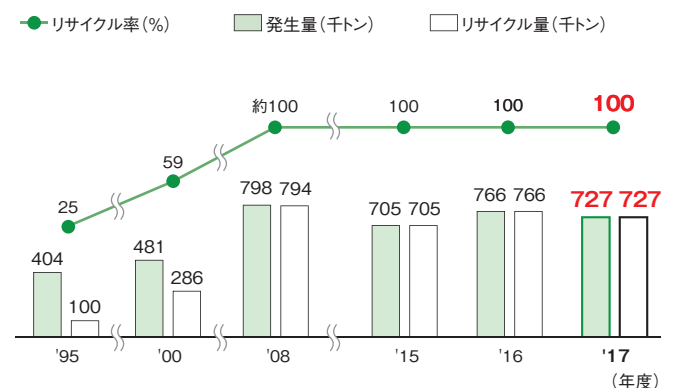
【再生利用(リサイクル)への取組み】……………

2017年度は、発生した産業廃棄物約87万トンをはほぼ100%リサイクルしました。産業廃棄物の大部分を占める石炭灰については、石炭灰の特性を活かしたセメント原料などへの有効利用を行っており、100%リサイクルしています。

(参考) 産業廃棄物の発生量とリサイクル率の推移、配電用資機材の再使用状況及び発電所別産業廃棄物の発生量・リサイクル量・リサイクル率については、環境データ集(P73)参照

グループ会社の廃棄物ゼロエミッション活動については、環境データ集(P74)参照

■ 石炭灰の発生量とリサイクル率



詳細は [九州電力](#)

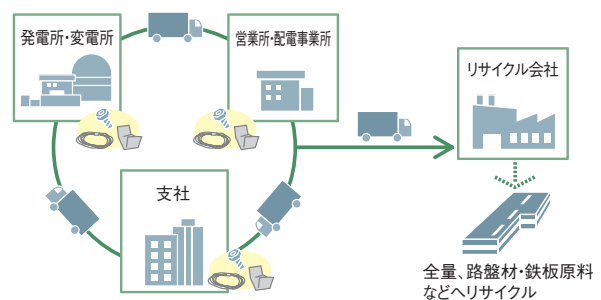
- ▶ 関連・詳細情報(P1参照)
- ▶ 石炭灰の新たな有効利用への取組み・
- ▶ 配電用資機材の再生利用状況・
- ▶ 環境リサイクル事業(株式会社ジェイ・リライツ、記録情報マネジメント(株))

【産業廃棄物の共同回収】

全社的かつ恒常的に発生している産業廃棄物については、対象品目を定め、複数事業所で一括回収後、全量リサイクルする「共同回収」を行っています。

2018年度からはコンクリートくずを対象品目に追加し、効率的な回収による輸送面での更なる環境負荷低減にも努めています。

■ 共同回収の流れ



- 対象品目
 廃プラスチック類、金属くず、ガラス・陶磁器くず、木製パレット、廃蛍光管、
 廃乾電池、コンクリートくず

【産業廃棄物の社外埋立処分量の抑制】

2017年度の産業廃棄物の社外埋立処分量は、昨年の148トンから243トンに増加しました。引き続き、共同回収の的確な運用などにより、埋立処分量の抑制に努めていきます。

一般廃棄物

当社で発生する一般廃棄物には、古紙等のオフィス活動に伴うものや発電所の設備に付着する貝類、ダムに漂着する流木などがあります。これらの一般廃棄物についても、適切な管理・処理を行うとともに、3Rを実践しています。



詳細は [九州電力](#)

- ▶ 関連・詳細情報 (P1参照) ▶ 不法投棄パトロールへの協力
- ▶ 当社で発生する一般廃棄物のリサイクル状況

(参考) 古紙回収状況については、環境データ集 (P73) 参照

■ 古紙などの一般廃棄物の発生量とリサイクル率 (2017年度)

	発生量(トン)	リサイクル量(トン)	リサイクル率(%)	主なリサイクル用途
古紙	1,153	1,153	100	再生紙
貝類	44	1	3	路盤材
ダム流木	704	697	99	敷きわらの代用品

古紙のリサイクルについては、取組みを開始した2002年度以降、100%リサイクルを継続しており、回収した古紙は、グループ会社の記録情報マネジメント(株)でコピー用紙やトイレトペーパーなどに再生されています。

グリーン調達

製品等の調達の際は、“まずその必要性を十分に精査の上、環境にやさしい製品等の調達を図る”ことを定めた「グリーン調達制度」を2002年度から導入し、お取引先とも協働して、製品等のグリーン調達に努めています。

【汎用品(事務用品等の市販品)】

汎用品については、当社購入基準(個別ガイドライン)に適合した環境配慮製品を原則購入することとしており、2017年度のグリーン調達率*は約100%となりました。

※:購入した汎用品に占める環境配慮製品の割合(環境配慮製品のある品目が調達率算定の対象)

【電力用資機材】

お取引先から応募いただいた製品等の情報・提案をもとに、特に良好と認められる製品を当社の「グリーン製品」として指定し、社内外に公表するとともに、積極的な調達を行っています。

【グリーン取引先】

積極的に環境活動に取り組まれているお取引先を「グリーン取引先」として指定(本書発行時点:230社)し、当社ホームページに企業名を掲載するとともに、見積参加機会の拡大等に配慮しています。



詳細は [九州電力](#)

- ▶ 関連・詳細情報 (P1参照) ▶ グリーン調達制度のご紹介